

5. 研究

5. 1 経常経費特別分

①四国防災・危機管理プログラムによる防災・危機管理教育の実践と防災啓発事業の展開

担当者：上月 康則，湯浅 恭史

研究費：2,688,000 円

②南海トラフ巨大地震に対応する徳島大学 BCP(事業継続計画)の運用と教育・訓練の実施

担当者：上月 康則，湯浅 恭史，松重 摩耶

研究費：608,000 円

5. 2 研究クラスター

①大規模自然災害からのインクルーシブ避難の実現

代 表：馬場 俊孝

担当者：中田 成智，山中 亮一，高岩 昌弘，木下 和彦，武藤 裕則，光原 弘幸，金井 純子，上月 康則，松重 摩耶，上谷 政人，岡田 真人，五十嵐 康彦，高橋 成実，Phil R. Cummins

研究費：4,000,000 円

概 要：機械学習や AI を活用して避難の高度化を地域連携で実現する。

5. 3 受託研究

①企業防災の訓練指導事業の実施とその効果検証（とくしま BCP 等策定支援事業）

代表者：湯浅 恭史

依頼者：徳島県

研究費：810,000 円

概 要：災害時における企業の事業継続力を強化するため、BCP 等の策定及び見直し改善の支援として、県内企業や商工団体を対象にした訓練指導等を行うとともに、実際に訓練を実施した企業からの聞き取り調査などから訓練指導の手法について検証を行う。

②一般廃棄物最終処分場廃止に向けた課題解決のための検討

代表者：上月 康則

依頼者：徳島市

研究費：100,100 円

概 要：徳島市西須賀最終処分場の廃止に向けた取り組みについて、当該処分場に係る水質調査資料等を学術的な見地から検討を行い、課題解決への助言を行う。

③防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト

代表者：小平 秀一（国立研究開発法人海洋研究開発機構）

担当者：馬場 俊孝

依頼者：文部科学省

研究費：1,455,000 円

概要：地域防災力向上のために、事前準備、災害時対応及び災害後対応の各ステージで各種情報を地域の防災に活用するための情報発信のあり方を探る。

④長洲干潟の環境保全・再生検討「長洲町地先干潟の環境の変遷と現状の評価並びに干潟の環境再生方法の検討」

代表者：上月 康則

担当者：中西 敬

依頼者：熊本県北部漁業協同組合

研究費：400,000 円

概要：本調査・研究は、陸と海をつなぐ干潟の機能をしっかりと把握しその変化を踏まえ、より科学的かつ実践的な観点で、干潟を豊かな状態に維持・管理していく方法を検討・実践することを目的とする。マクロな視点で干潟環境をとらえ、土砂の移動、栄養塩の状態、栄養塩の循環に着目するとともに局所的な干潟の地形変化を踏まえ、アサリやノリなどの水産有用生物と関連付け、干潟を豊かな状態に維持・管理し持続的に利用するための「畑」づくりの在り方を具現化することを目指す。

⑤感染症に配慮した社会福祉施設の事業継続計画策定研修の実践

代表者：湯浅 恭史

担当者：中野 晋, 金井 純子

依頼者：徳島県社会福祉法人経営者協議会

研究費：494,000 円

概要：徳島県内の社会福祉施設の事業継続計画策定率向上に向け、感染症対策にも配慮した効果的な研修方法を開発し、実践する。

5. 4 共同研究

①河川港湾部門への Data Visualization 適用に関する技術開発（継続）

代表者：山中 亮一

依頼者：株式会社エイト日本技術開発

研究費：4,680,000 円

概要：社内ニーズへの対応および他社との差別化を図るために、空間的数値情報の利用フィールドとして、主に水防分野への適用(他分野への応用可能)し、その利用価値を向上させるものである。

②尼崎運河と尼崎港での水質浄化の研究

代表者：上月 康則

担当者：山中 亮一

依頼者：兵庫県阪神南県民センター

研究費：1,799,200 円

概要：(1) 尼崎運河と尼崎港における水質・生態系の栄養塩管理手法

尼崎運河と尼崎港を対象に、水質・底質・生態系に関する現地調査を行う。水質情報の蓄積を進めるが、特に底泥間隙水の水質について明らかにする。生態系については干潟に飛来する鳥類の AI カメラでの自動判定を試みる。

(2) 尼崎運河と尼崎港の環境修復技術・手法の開発および啓発

魚類の生息域拡大に関する実験を行う。チチブを対象とし、鋼矢板でのすみかづくり実験を行う。啓発活動としては、魚類の食材利用の試行、魚類生息場づくりワークショップをオープンキャナルディの機会に実施する。

③民間資本を活用した安全な都市基盤の整備に関する研究

代表者：蔣 景彩

依頼者：株式会社一条工務店

研究費：1,400,000 円

概要：南海トラフ地震に対する事前復興対策として津波浸水エリアでの安全な都市基盤整備が急がれている。これまで大規模災害に対する事前防災としての都市基盤整備は行政により実施されてきたが、大規模災害が切迫する中、民間資本も活用して官民共同で効率的な基盤整備の必要性が高まっている。官民それぞれの特徴を生かした都市基盤整備の新たな手法を開発・提案するとともに実現に向けた都市基盤の整備設計を実践する。

④河川港湾部門への Data Visualization 適用に関する技術開発

代表者：山中 亮一

依頼者：株式会社エイト日本技術開発

研究費：2,600,000 円

概要：社内ニーズへの対応および他社との差別化を図るために、空間的数値情報の利用フィールドとして、主に水防分野への適用(他分野への応用可能)し、その利用価値を向上させるものである。

⑤街路沿いのブロック塀の抽出とその損傷、老朽化を迅速に判定する手法の研究

代表者：上月 康則

依頼者：株式会社日本インシーク

研究費：1,500,000 円

概要：(1) 研究目的 地震時の倒壊等が問題視されているブロック塀は町中に多数点在しているが民有も多く設置場所や状態が管理されておらず、市町村が防災計画等を立案する上での

障害となっている。これを調査することは重要であるが、人海戦術で実施することは経済性で不合理で、ITC 技術を活用した迅速且つ効率的な抽出および状態判定を実施することを研究の目的とする。

- (2) 研究内容
 - ・ ICT を用いた点検フィールド使用に向けたサポート
 - ・ 試行点検の手法および点検結果に対する学術的サポート
 - ・ ブロック塀の健全度調査方法の普及と標準化に関するアプローチ

5. 5 受託事業

①令和 4 年度地域防災力強化人材育成推進事業

代表者：上月 康則

依頼先：徳島県防災人材育成センター

事業費：7,362,000 円

概要：地域防災活動に行政と協働して取り組む「地域防災推進員」の養成を図り、地域防災力の強化につなげるため、徳島大学が開講する体系的な防災講座を一般市民及び徳島県職員等を対象に実施する。

②小松島市職員防災士養成事業

代表者：上月 康則

依頼先：小松島市

事業費：2,210,000 円

概要：特定非営利活動法人日本防災士機構が認定する「防災士」の養成を図り、小松島市の防災力強化につなげるため、国立大学法人徳島大学が開講する防災士研修認定講座を小松島市職員対象に実施する。

③地域防災力強化事業業務

代表者：田村 隆雄

依頼先：徳島市

事業費：1,690,494 円

概要：大規模な災害が発生した場合の被害を最小限に止めるためには、地域の防災力の強化が不可欠である。特に地域に居住する住民の防災意識の向上とその居住する地域の特性を知ることが、地域の防災力強化の近道となる。平成 23 年 3 月に発行した「徳島市総合防災マップ」を市民が保管用として自宅に置くだけのものにしないようフォローアップを実施し、徳島市内の行政区 2 地区を対象に地域住民が自ら考え作る自分たちの避難支援マップを作成することにより、地域の特性を再認識し、地域の防災力強化と防災意識の高揚を図ることを目的とする。

④令和4年度神山町職員対象防災士養成事業委託業務

代表者：上月 康則

依頼先：神山町

事業費：832,000円

概要：特定非営利活動法人日本防災士機構が認定する「防災士」の養成を図り、神山町の防災力強化につなげるため、国立大学法人徳島大学が開講する防災士養成講座を神山町職員対象に実施する。

⑤南海トラフ大地震に備えた5G等を用いた歯科的身元確認の遠隔支援実装事業

代表者：西村 明儒

依頼先：公益財団法人e-とくしま推進財団

事業費：420,000円

概要：災害犠牲者の安全かつ迅速な身元確認・遺族の心痛軽減、早期復興、伝染病予防

5.6 助成金

①科学研究費助成事業（科学研究費補助金）新学術領域研究（研究領域提案型）

研究名：古代西アジアをめぐる水と土と都市の相生・相克と都市鉱山の起源

代表者：安間 了

研究費：16,250,000円

②科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（B）（一般）

研究名：徳島県小松島沖亀磯を対象とした臨海地震の崩壊現象の解明と誘発津波の予測

研究者：馬場 俊孝

研究費：5,590,000円

③科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）（一般）

研究名：地方都市における災害の激甚化に対応した土地利用計画支援システムの開発

研究者：渡辺 公次郎

研究費：780,000円

④科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）（一般）

研究名：砂州地形の攪乱を維持するための流砂の量的・質的管理と河川構造物の効果的配置

研究者：武藤 裕則

研究費：1,820,000円

⑤科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）（一般）

研究名：ICT技術活用も含めた少人口／多人数社会の構築プロセスに関する研究

研究者：田口 太郎

研究費：1,690,000 円

⑥科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）（一般）

研究名：性被害・性加害を防止する性的権利尊重・行使 e-learning プログラムの開発

研究者：内海 千種

研究費：780,000 円

⑦科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）（一般）

研究名：セルフモニタリングを取り入れたストレンクス視点型生活習慣変容プログラムの開発

研究者：岡久 玲子

研究費：2,470,000 円

⑧科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）（一般）

研究名：ICT 活用型避難訓練の疑似体験強化と継続可能な防災教育としての実践的確立

研究者：光原 弘幸

研究費：1,820,000 円

⑨科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）（一般）

研究名：海岸ハイブリッドインフラにおける生態系サービスの持続的な活用と保全

研究者：山中 亮一

研究費：1,040,000 円

⑩科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）（一般）

研究名：ウイズコロナ時代の遠隔解析による歯科的身元確認法の開発

代表者：高野 栄之

研究費：520,000 円

⑪科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）挑戦的研究（萌芽）

研究名：巨大災害時の生活再建困難者の発生を抑制する災害ケースマネジメント手法に関する研究

代表者：上月 康則

研究費：910,000 円

⑫令和4年度徳島大学 SDGs 研究推進支援事業

研究名：知的障がい者が地域で自立して生活していくためのまちづくりに関する研究

研究者：渡辺 公次郎

研究費：445,000 円

⑬令和4年度厚生労働科学研究費補助金（分担）

研究名：浸水被害も含めた、新たな医療機関の事業継続計画（BCP）策定に資する研究

研究者：湯浅 恭史

研究費：配分なし

5.7 寄附金

①環境防災研究センター

寄附者：株式会社一条工務店

研究費：3,000,000円

②上月 康則

寄附者：一般社団法人四国クリエイト協会

研究費：4,000,000円

③環境防災研究センター

寄附者：ニタコンサルタント株式会社

研究費：5,000,000円

④上月 康則

寄附者：五洋建設株式会社

研究費：500,000円

⑤山中 亮一

寄附者：株式会社エイト日本技術開発

研究費：2,000,000円

⑥上月 康則・山中 亮一

寄附者：株式会社基礎建設コンサルタント

研究費：500,000円

⑦山中 亮一

寄附者：株式会社基礎建設コンサルタント

研究費：500,000円

5. 8 学術指導

①南海トラフ地震に向けた事前復興の理念普及と社会実装

代表者：中野 晋

依頼者：株式会社一条工務店

学術指導料：12,350,000 円

概 要：南海トラフ地震に向けて、人的被害の削減，被害後の早期復旧・復興を実現するため，事前復興の理念の普及・啓発やフェーズフリーの防災まちづくりに係る研究開発と社会実装を図る。